

5 高等学校における道德教育（平成27年度広島県教育資料から抜粋）

高等学校における道德教育は、人間としての在り方生き方に関する教育であり、公民科やホームルーム活動を中心に各教科・科目等の特質に応じ学校の教育活動全体を通じて、生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができるよう、適切な指導を行わなければならない。高等学校では、小・中学校と異なり道德の時間が設けられていないので、道德教育の指導に係る共通理解を図る研修の設定など配慮が必要である。しかし、平成26年度高等学校道德教育推進協議会参加者アンケート結果によると、「自校では、道德教育に関する研修を実施している」と回答した学校は39.7%であり、約6割の学校が実施していないと回答している。そこで、各学校においては、「高等学校における道德教育推進のポイント」を踏まえ、学校の実態や生徒の発達の段階などにふさわしい教育活動を行えるよう、校内研修の充実が求められる。

<高等学校における道德教育推進のポイント>

- 教職員間での道德教育に係る共通理解を図る。
 - 計画的・継続的な指導を行うための組織づくりを行う。
 - 推進上、基軸となる機会と場を設定する。
 - 固有の指導内容・指導方法、教材を開発する。
- ※小・中学校の道德教育を基礎として
- 自己の生き方を社会とのかかわりで探求させる。
 - 各学校の特色を生かして重点的な道德教育を展開する。

特に、全教職員による一貫性のある道德教育を推進するために、生徒の実態等を踏まえた「育てたい生徒像」から、道德教育の重点目標や各学年の指導目標を明確にし、各学校の特色が生かされるよう全体計画の具体化や評価・改善を図る必要がある。

具体的な教育実践につながる道德教育の全体計画の評価・改善（例）【河内高等学校の取組】

平成25年度に客観的データ分析と校訓「心美・体健」から育てたい生徒像を設定し、その実現に向けて、全教職員が参画意識をもって全体計画の作成に携わり、改善を図った。

さらに、具体的な実践につながるよう、平成26年度に全体計画を見直した際、学年目標が道德性育成の視点で、具現化されていないなど課題が挙げられた。

そこで、「育てたい生徒像」と道德教育の重点目標、道德教育の学年目標がつながるよう改善を図り、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育を一層推進していくよう取組を進めている。

H26 道德教育の全体計画

校訓を体現化したマスコットキャラクター
心美ちゃん(中央)・体健くん(右下)

「育てたい生徒像」の実現に向けた道德教育の重点目標と学年目標のつながり

校訓 心美・体健	
学校の教育目標 時代や社会の変化を柔軟に受け止め、生徒の「生きる力」を育成するとともに、魅力ある教育活動を展開し、保護者・地域に信頼される学校とする。	
〈育てたい生徒像〉 『いきいき』と夢や希望を語る生徒 『はつらつ』とチャレンジする生徒 『さわやか』に他人に接する生徒	
道德教育の重点目標 ・自他を尊重し、相互に認め合い、高め合う態度を育てる ・生命を大切に、美しいものに素直に感動できる心を育てる ・規範意識を高め、よりよい社会づくりをめざす態度を育てる	
学年目標	
1学年	・基本的な生活習慣の定着を図る。 ・基礎学力の定着を図る。 ・進路意識を持たせる。
2学年	・基本的な生活習慣を確立する。 ・基礎学力の定着と向上を図る。 ・進路意識を明確にする。
3学年	・望ましい生活習慣を確立する。 ・基礎学力のさらなる向上を図る。 ・希望進路を実現させる。

校訓 心美・体健	
学校の教育目標 時代や社会の変化を柔軟に受け止め、生徒の「生きる力」を育成するとともに、魅力ある教育活動を展開し、保護者・地域に信頼される学校とする。	
〈育てたい生徒像〉 『いきいき』と夢や希望を語る生徒 『はつらつ』とチャレンジする生徒 『さわやか』に他人に接する生徒	
道德教育の重点目標 ○自己理解を図り、夢と希望を持って自己の向上に努める態度を養う。 ○規範意識を高め、よりよい社会づくりを目指す態度を養う。 ○自他の生命を尊重し、相互に認め合い、協調して物事に取り組む態度を養う。	
学年目標	
1学年	・自己理解を進め、自己の目標を見つける。 ・基本的な生活習慣を確立する。 ・かけがえのない生命を尊重し、自己肯定感を高める。
2学年	・自らの夢の実現に向けて努力する態度を身につける。 ・規範意識を高め、自他の権利を重んじ、義務を果たす態度を身につける。 ・他者を尊重する姿勢を身につける。
3学年	・より高い目標をめざし、夢や希望の実現に向けて、よりよく生きる態度を身につける。 ・規範意識を高め、よりよい社会の実現に努める態度を身につける。 ・自他の生命を尊重し、互いに認め合い、他者と協調する態度を身につける。

つながり
つながり

平成26年度（一部抜粋）

平成27年度（一部抜粋）

